

8/12 (木) 22-23時

ルーム名：🌐「古民家大学」共和国🌐#3

～重伝建保存地区から考える残したい町並み継承と生き方

このルームでは、広く築50年超以上の日本の伝統的家屋である古民家が、孤立した形や精々2.3軒連続しての「点や線」ではなく、奇跡的に「面」の規模として残っている文化庁認定の「重要伝統的建造物群保存地区（以後「重伝建保存地区」と呼称）」が、全国43道府県101市町村123地区（令和2年12月現在）があるので、そこを立ち位置に、多様な「古民家」のリアルな最新情報の共有と意見交換・対話を程度の差こそあるものの関心ある皆様と、楽しく一緒に創って学んで価値形成していく古代ギリシャのアゴラ（開かれた公共広場）のような存在を目指したいと考えます。

12世紀、欧州のルネサンス期以降に生まれたパリ大学等の大学の起源はこの古代ギリシャのアゴラにあり、古民家再生に関する「理論（＝研究）と実践」を進めようと、ルーム名を「古民家大学」共和国といたしました。

今回も「古民家」を次世代に引き継ぐためにどうしたらよいかの視点で、若者・若年層の「古民家」への関与のミクロの実例・実際を知りたいとの想いで、大阪・富田林の重伝建地区で新しい古民家を新築された高橋さんをルームにゲストにお迎えし、議論することにいたしました。

尚、ルームは当面、古民家で最も大事な構成要素である「木」に因み、毎週木曜日（午後10時～11時）に設定いたします。

毎回のルームの1時間の基本的アウトラインは

- 古民家に関するテーマ講義、講話
主張に関する質疑、情報交換、意見交換、対話
- レポート「今日の1/123」‘国が認定する守るべき町並み’である123件の重伝建保存地区の歴史と特徴、そして現在と未来（10分）
- エンディング（5分）

【初回のまとめ】

- 古民家保存は「点や線」の規模ではなく、「面、ゾーン」である重伝建地区単位で観ると、大きな動きになる。
- 国内最大級の重伝建地区の今井町（奈良県橿原市）は利便性のよいところで、外部からの移住も散見され、新規店舗が増え、活性化が進んでいる。
- 古民家は「保存」という静的な意味合いではなく、次世代への「継承」という動的な視座が必要。
- タワマンがスポーツカーなら、古民家はクラシックカー。景色の見え方も価値観も違う。
- 若い世代で一定数「古民家再生」に興味関心が高いと推測され、大学での取り組みや事例等を集めたい。



富田林寺内町。国の重要伝統的建造物群保存地区に指定された歴史ある町。大都会大阪の街から30分で訪れることのできる静かな隠れた名所、ここは本当に大阪なのだろうか、雄大な金剛山地を背景に中世にタイムスリップしたような屋根のない博物館に建つ、モダンな町屋が河京富月です。

寺内町×町屋×etc.

河京富月は、古い白壁の町並みを格子戸越し眺めながら、ゆっくりとした時間を過ごせる場所。懐かしいけど新しいノスタルジックな空間で自由に寛げ、笑顔が溢れるサードプレイスを創ること。

カフェ、レンタルスペース、写真撮影など歴史文化の中に新しい町屋・商家として地域に貢献出来るようにと心掛けております。

そして、歴史あるこの町で若手アーティストが展示やイベントなどで表現し、活躍の場を世界へ広げていけるような場所にしていきたいと思っています。

【8/12(木)のゲスト】大阪府・富田林寺内町 町屋河京富月 高橋さん

・カフェ・ギャラリー 「町屋河京富月」運営: <https://kakyofugetsu.com/>

・Note「世界の旧市街から見る魅力溢れるまちのヒント」kyoji takahashi @kyojinaimachi
<https://note.com/kyojinaimachi/n/nd9d95e34a901>

◎自己紹介とプロフィール

「世界を旅したことで見つけたやりたいこと、それは日本の町並みを守り育てること
元バックパッカーで20歳から30歳頃まで暇があれば海外一人旅にばかり出かけていました。
訪問した国は40ヶ国以上で、たくさんのまちを見てきました。

旅をしていて自分は都会より旧市街や大自然が好きということが分かり、なぜこの町は綺麗なのかと
景観に興味を持ちました。

好きになる多くの町はその国独自の風土文化を活かした町並みでした。
そんな中、地元で重要伝統的建造物群保存地区の富田林寺内町があり、この町の保存継承すること、
そして自分が世界を旅していい町やなと思ったように、日本中、世界中にこの町の素晴らしさを発信す
ることを決めました。

屋根のない美術館・芸術家が集まる町育てる町を作るのが目標です！
趣味は、重要伝統的建造物群保存地区巡りで64箇所周っています。」